

京都大学理学研究科・理学部数学教室同窓会
2024 年度総会議事録

日時： 2024 年 10 月 26 日（土） 13：45～14:20

場所： 理学研究科 3 号館 110 講演室

1. 開会

司会者の岸本展常任幹事(広報)によって総会の開始が宣言された。

2. 会長挨拶

総会開催に当たり重川会長より挨拶があった。

2024 年度より会長に就任。当会発足時から常任幹事として関わってきたがいろいろと行き届かない点もあったと思うが、同窓会をより良いものとしたいので皆様のお力添えをよろしくお願いしたい。

3. 議長選出

司会者より、議長の選出について会則の運用細則 3 条 1 項により「役員会構成員および監査役以外から選ぶと規定されている」と説明があり、議長の推薦を受け付けた。会場から推薦が無かったため、司会者から岡宏枝会員を推薦したい旨の提案があった。岡会員を議長としてよいか諮られ、承認された。

4. 書記の選出・議事録の作成

議長より、書記の推薦を受け付けた。会場から推薦がなかったため、議長から中山素生会員を推薦したい旨の提案があった。中山会員を書記としてよいか諮られ、承認された。

続いて、議長より、議事録作成手順について提案がなされ承認された。

5. 報告

①2023 年度活動報告

議長より会長に報告を求め、会長より以下の報告があった。

○同窓会誌の発行 2023 年 8 月 25 日に第 7 号を発行。

○総会行事 2023 年 10 月 28 日（土）に、総会、講演会、懇親会を開催した。

- ・総会 会長より 2022 年度の活動報告があった。
- ・講演会 翻訳家富永星氏による講演が行われた。
- ・懇親会 会員 28 名+招待者 2 名が参加した。

○学位記授与式

- ・2023 年度京都大学全体の修士号学位記授与式が 2024 年 3 月 25 日にみやこめっせで開催された。

その後、理学研究科 3 号館 127 大会議室で理学研究科数学・数理解析専攻数学系の修士号学位記授与式が開催され、Benoit Collins 専攻主任から学位記が手渡された。

- 2023 年度京都大学全体の卒業式が 2024 年 3 月 26 日にみやこめっせで開催された。
その後、理学研究科 3 号館 127 第会議室で理学部数理科学系の学士号学位記授与式が開催され、加藤周専攻長より学位記が手渡された。
- 同窓会は数学教室での学位記授与式に協力し、卒業生、修士課程修了生への印刷物を配布し、お土産を手渡しするとともに、連絡先の収集を行った。授与式後、108 セミナー室で茶話会を行った。

○2023 年度役員会における特記事項

2024 年 5 月 25 日に役員会が開催された。その際、井川満会長(当時)からの引き継ぎがあった。

- (1) 支部、特に関東支部をつくるための作業
- (2) 会、会誌、総会行事等の愛称
- (3) 卒業生、修了生への顕彰等の具体的検討
- (4) 世話人等の世代交代
- (5) 役員の世代交代

②2023 年度会計報告、監査報告

議長より吉川謙一常任幹事(経理)に報告を求め、吉川常任幹事より以下の報告があった。

- ・ 2022 年度の収入の部の会費と寄付金の表記の誤りの対応
- ・ 2023 年度の会計について前年度から変わった点

コロナ禍により 2022 年度まで行われなかった総会行事、特に懇親会の支出が復活。

2023 年度発行の同窓会誌第 7 号より、封入、ラベル貼りの作業を印刷業者の北斗プリントに委託したことにより印刷費が増加。

議長より稲生啓行監査役に報告を求め、稲生監査役より以下の監査報告があった。

2024 年 6 月 21 日に、稲生啓行、山内宗幸両監査役により 2023 年度の会計について会計資料等の監査を行い、適切に経理処理されていることが認められた。

6. 議事

議長が、議案(a)2023 年度の活動報告、議案(b)2023 年度の会計報告・監査結果の審議に関して、何か発言はないか確認したがなかったので、決議を取り議案(a)(b)が承認された。

次に、議長より、会長に議案(c)の説明を求め、会長より以下の説明があった。

議案(c) 2024 年度活動方針

- 数理科学課題研究(数学講究)写真撮影

今年度は、グループごとに自分たちで写真を撮影し、ファイル提出する形式を予定。

- 同窓会誌の発行

同窓会誌第 8 号を 8 月 25 日に発行、同窓会会員に向け発送を行った。

- 役員会の開催

役員会を 2024 年 9 月 14 日に開催した。

議題は 2023 年度の活動報告、2024 年度の活動方針。

(1) 支部，特に関東支部をつくるための作業

実質的に何も行われていない。多くの会員，特に民間企業に就職した会員が関東に在住している。関東在住の会員が京都で行われる同窓会業務に参加するのは現実的ではない。京都とは独立に関東で活動が行われるのもよいが，それをまとめる人材がいなければ実質的には動かない状況である。

(2) 会，会誌，総会行事等の愛称

作業を開始しながら，挫折してしまった。自然発生的に何か良い案が挙げれば動き出す。当面は保留とする。

(3) 卒業生，修了生への顕彰等の具体的検討

同窓会の会計の余裕分の意味のある活かし方に関わる。顕彰については，審査を同窓会が行うのは不可能。学業成績に基づいた数学教室教務委員会による審査，教授会合による決定を行うとしても，教員に負担がかかる。そもそも，成績をそのように用いてよい問題である。修士課程学生に図書券を配布することも検討する。時代に合った配布方法はないか検討していく。

(4) 世話人等の世代交代

(5) 役員の世代交代

同窓会発足以来，ほぼ同じ方々をお願いしている。リモートワークでできる作業であれば，遠隔地からも参加できる。名簿等，個人情報に関わる内容は，リモートワークで行うわけにはいかない。

•総会行事の実行

本日，2024年10月26日(土)に総会，講演会，懇親会を開催する。同窓会ホームページからリンクされている Googleform にて出欠の登録を行っていただく。講演会の講師は鍛冶静雄氏(九州大学マス・フォア・インダストリ研究所教授)。講演ののち，アンケートを取り，次年度以降の参考にする。

•学位記授与式

2024年度学位記授与式は2025年3月24日に開催される。修士号，学士号ともにこの日に開催される。同窓会は数学教室主催の学位記授与式に協力する。昨年度よりも，授与式に関わる行事を行う時間が短くなる。

議長が議案(c)の審議に関して，何か発言はないか確認したがなかったので，決議を取り議案(c)が承認された。

議長より，議事終了の旨の発言があった。

7. 閉会

司会者によって総会の終了が宣言され，総会は閉会となった。

以上